

平成30年度

若手教員〔初任者〕研修講座(特別支援学校)

13日 小学校参観

◆ 平成30年10月4日(木)

特別支援学校には、地域の小学校で学んでいた子どもたちも在籍しています。そうした子どもたちが、どのような学びを積み重ねてきていたのか知ることは、特別支援学校の教員として、指導をしていく上で重要です。

この日は、水戸市立緑岡小学校において、授業参観や児童との交流をさせていただきました。1年生から6年生の授業を参観させていただいたことで、学年ごとの目標を踏まえた指導等の工夫を知ることができました。また、特別支援学級の授業では、児童の実態に応じたきめ細かな指導の工夫がなされており、特別支援学校での指導に取り入れられるものがたくさんありました。お昼にはクラスに入り一緒に給食を食べたり、休み時間に外で一緒に遊んだりして、児童と交流をさせていただきました。

午後の研究協議では、「1クラス35人程度いる子どもたちをまとめる難しさ」や「クラスの中で見過ごされやすい教育的支援の必要な子どもへの支援」、「クラスをまとめるルールづくり」などについて、質問があがりました。教頭先生や教務主任の先生から、学校での取組を含め、アドバイスをいただきました。いつもとは違う所外での研修で小学生と触れ合う中で、受講者にも多くの笑顔が見られました。



授業参観では、「板書の工夫」「掲示物などの環境整備」「授業展開の工夫」などについて、特別支援学校との違いを知ることができました。



給食後、子どもたちと一緒にグラウンドで鬼ごっこなどを通して、交流を行いました。



教頭先生、教務主任の先生も含め、研究協議を行い、小学校参観で感じた疑問や取組についてアドバイスをいただきました。